



日進市ゼロカーボンシティ宣言

地球温暖化が一因とされる気候変動は、近年、国内外において猛暑や集中豪雨、大型台風などの異常気象を引き起こし、私達の生活に大きな影響を及ぼしています。

2021年8月に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）第6次評価報告書では、地球温暖化の原因は科学的見地から「人間の影響が大気・海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」と結論づけました。

また、同年11月に採択されたCOP26におけるグラスゴー気候合意では、世界の平均気温上昇を産業革命前に比べて1.5度までに抑えるという世界全体の目標と、今世紀半ば頃には二酸化炭素排出量を実質ゼロにする必要性が明示されました。

我が国においても、2020年10月に政府は「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しています。

本市では、天白川や身近な里山など、豊かな水と緑に恵まれた私たちのふるさと日進の自然を将来の世代へ継承したい、との思いから「2024年のこどもたちへ」をキャッチフレーズとして策定された環境基本計画のもと、市民の皆様とともに様々な環境施策に取り組んできました。

また、本市の環境まちづくり基本条例の前文には「私たちは、自らが環境に負荷を与えている存在であること、そして地球環境の保全が人類共通の最重要課題であることを改めて確認しなければなりません。そして、持続的発展が可能な社会の実現のため、自然と人との共生を考え、環境への負荷の少ない循環を基調とした地域のあり方や一人ひとりの生活様式そのものの見直しや転換を図らなければなりません。」と謳っています。

日進市の豊かな自然環境や生態系を未来の子どもたちに引き継ぐため、脱炭素社会の実現に向けた持続可能な地域づくりに地域全体で取り組み、二酸化炭素排出量を2050年までに実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに表明します。

令和4年（2022年）2月22日

日進市長 近藤 裕貴